

が い こ く
外国につながる
こ
子どもたちが
ゆめ も かつ や く
夢を持ち活躍
し や か い
できる社会に



愛知県多文化共生シンボルマーク

てい いん
定員
めい (にゅうじょうむりょう)
100名 (入場無料)
ようじぜんもうしこみ
要事前申込

どようび
土
11月20日
13:00~16:00
なごやこくさい
名古屋国際センター
べつむね
別棟ホール

プログラム

13:00~13:05
あいさつ (愛知県知事 大村秀章)

13:05~13:20
愛知県多文化共生推進功労者表彰

13:20~14:20
基調講演
『「多文化共生推進ディレクター」への道』

14:35~15:50
パネルトーク
『子どもの可能性を未来へつなぐために』

かいじょう
会場アクセス



- 名古屋駅 (JR線・名鉄線・近鉄線など) から東へ徒歩約7分
- 地下鉄桜通線「国際センター」駅下車2番出口すぐ
- 市バス「国際センター」下車すぐ
- 駐車場はありませんので、公共交通機関を御利用ください。

ごらいじょう みなさま
御来場の皆様へ

新型コロナウイルス感染予防に御協力をお願いします。
新型コロナウイルス感染症の拡大等により、
内容を変更したり、開催を中止する場合があります。
最新の情報は以下のWebページから御確認ください。
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/tabunka/>



きちようこうえんこうしけん
基調講演講師 兼 パネリスト

カブレホス・セサル 氏 (ランゲージワン株式会社 多文化共生推進ディレクター)

ペルー・リマ出身。1990年、11歳の時に来日。埼玉県朝霞市の小学校、中学校で学んだ後、静岡県富士市に引っ越し、沼津市の工業高校に通う。高校卒業後は専門学校を経て、工場で働く。また、子どもの頃から、日系人コミュニティの中でスペイン語とポルトガル語のボランティア通訳を担う。2006年、上京し、通訳者として就職。現在は、多言語通訳コールセンターを運営するランゲージワン株式会社の営業部に所属する。2021年4月、社内初の役職「多文化共生推進ディレクター」に着任し、多文化共生社会の実現にプラスになる事業の普及や開拓に取り組んでいる。



パネリスト

ペルマタ・スルヤ・ウィジャヤ 氏 (大学1年生)

インドネシア出身。15歳の時に両親とともに来日。西尾市の多文化ルームKIBOU等で学習し、来日から1年後に高校へ入学。高校に通う傍ら、西尾市教育委員会の学習指導員として、日本語初期指導教室カラルと小学校で子どもたちの学習と心のサポートを行う。現在は、英語と日本語を完全に習得するのが目標で、2021年4月から、国際文化系の大学で学んでいる。

伊東 浄江 氏 (特定非営利活動法人トルシーダ 代表理事)

1992年、豊田市の日本語教室で日本語ボランティアとして活動を開始する。2003年、特定非営利活動法人トルシーダを設立し、不就学や不登校、来日直後の外国につながる子どもたちのための日本語教育を通じた『居場所づくり』の活動を続けている。進路選択や生活の支援を行うほか、子どもたちの学びを支える保護者の就労が安定することを目的とした日本語教室や就労支援プログラムも行っている。

コーディネーター

松宮 朝 氏 (愛知県立大学教育福祉学部 准教授)

2001年より愛知県立大学に勤務。専門は地域社会学。貧困、社会的排除、社会的孤立等の問題に対して地域コミュニティはどのような対応が可能か、実践現場への参加と観察を通して、地域が抱える課題と展開可能性、実践的手法を探っている。外国人との共生を考える会等と連携しながら、外国人住民の調査を行っている。大府市や長久手市の多文化共生関連の委員会の委員長を務める。

さんかもうしこみしよ せんちゃくじゆん
参加申込書 (先着順)

FAX、Eメール (件名:「フォーラム申込み」)、郵送などで、11月18日 (木) までに
 お申し込みください。

お名前
団体名 (任意)
連絡先	市町村 : TELまたはメールアドレス :

※申込完了の御連絡はいたしません。定員を超えた場合のみ御連絡いたします。

※お送りいただいた個人情報(当イベント以外)では使用しません。



あいちけん けんみんぶんかきやく けんみんせいかつづ しゃかいかつどうすいしんか たぶんかきようせいすいしんしつ
愛知県 県民文化局 県民生活部 社会活動推進課 多文化共生推進室

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3丁目1番2号

TEL : 052-954-6138 FAX : 052-971-8736 Eメール : tabunka@pref.aichi.lg.jp